

平成29年度「学生地域活動支援事業」 地域課題一覧

| No. | 活動地域 | 地域課題 | 概要 | 活動内容 | メッセージ等 | 実施時期 | 連携団体 |
|-----|----------------|---------------------------------|--|--|--|----------|--|
| 1 | 大田市 北三瓶地区 | 自然や文化を活かした小中学生向け教育プログラムの開発 | <ul style="list-style-type: none"> ・山村留学活動を20年前から住民により開始しているが、協力する里親農家や住民の高齢化、山村留学生の募集等に課題が出てきている。 ・地域にある自然や文化などの魅力を改めて見直し、教育プログラムをつくり、県内外に向け発信していくことが今後の課題。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと関わり、三瓶山付近の自然や文化を満喫しながら、新たな教育プログラムを一緒につくる。 | <p>教育や、アウトドア、地域文化に興味がある学生を募集します。</p> | 7月～3月頃 | ・大田市山村留学センター |
| 2 | 江津市 桜江町市山地区 | 市山地区の魅力を見つける | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から本格的に始まった地域コミュニティ組織の活動に、多くの人を巻き込んでいく必要がある。 ・住民が地域の一員として魅力や課題を再確認し、主体的に活動していくような意識醸成が課題。 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民と一緒に地域の課題や魅力を発見する「まちあるき」の企画 ・上記「まちあるき」の運営、参加。 | <p>学生の皆さんにも、市山の魅力を知ってもらい、ファンになってもらえると幸いです。</p> | 6月～12月頃 | ・市川地域コミュニティ組織「まごころ市山」 |
| 3 | 江津市 桜江町川戸地区 | JR三江線の廃止にともなう生活環境の変化と、その後のまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・H30.3末予定の三江線廃線及び公共交通手段の転換、そして地域の高齢化により、町の衰退が懸念される。 ・三江線廃止までに行けること、廃止後に向けてこれから目指すまちづくりのあり方を検討していくことが緊急の課題。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状を把握 ・廃線まで、そして廃線後における、川戸駅やその周辺での取り組みのアイデアの話し合い ・上記アイデアの実行（駅舎の活用、イベント、線路の活用など） | <p>地域にとって大きな転換期をともに感じ、考えてみませんか。</p> | 7月～3月頃 | ・川戸地域コミュニティ協議会 |
| 4 | 浜田市 三隅町井野地区 | 井野地区特産品づくりによる地区内外の交流活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口と世帯数の減少、高齢化が進む中山間地域であり、地域内外の交流活性化による賑わいづくりが課題。 ・ピザ窯製作及び活用、井野ならではのイベントプログラム作成等に取り組む中、学生のアイデアを求めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・井野ならではのメニュー開発 ・井野地区のイベント状況の整理 ・イベントプログラムの計画・実施 など | <p>いろいろな人と交流するのが好きな人、田舎の自然・体験・料理に興味がある人に来てほしいです。</p> | 7月～2月頃 | <ul style="list-style-type: none"> ・井野端委員会 ・いのっ子クラブ ・まちづくり推進委員会INO など |
| 5 | 益田市 真砂地区 | 地域資源(高齢者の知恵と文化)の継承 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「人財」である高齢者の経験を、高齢化と独居高齢者の増加、コミュニティの希薄化とともに継承が難しくなっている。 ・子供たちに伝え残すため、この「人財」という財産管理は、今、継承しなければ途絶えてしまう地域にとって最も必要な主要課題。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の数人(2～4名を想定)の高齢者の方から人生経験・体験、様々な知識や生活の知恵などの聞き書き。 ・上記の内容を冊子にまとめる。 | <p>人生の先輩に敬意をもって接することができ、礼儀正しく、素直で明るい学生さんに来てもらえると嬉しいですよ</p> | 6月～12月末頃 | ・真砂地区自治組織「ときめきの里真砂」 |
| 6 | 益田市 西益田地区 | 地域素材の活用と、若者や壮年層を取り込んだまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・今年35回を迎える地域振興イベント「いかだ流し大会」のマンネリ化、参加艇減少傾向という現状。 ・「いかだ流し」にこだわらず、川という素晴らしい素材を活用したまちづくりの活性化が求められている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「いかだ流し」にこだわらない、川という素晴らしい素材を活用したまちづくりの活性化策を具体的に提案。 | <p>若い発想で、いろいろなアイデアを出し、地域の人々を巻き込んで実践してみていただきたい。</p> | 6月～11月頃 | <ul style="list-style-type: none"> ・清流高津川いかだ流し大会実行委員会 ・西益田地区振興センター ・西益田地区つろうて子育て協議会 |